

第4回 福島出張所管内河川レンジャー運営会議 議事要旨（暫定版）

開催日時 : 平成18年2月27日(月) 10:00~12:00
場 所 : 天満研修センター 5階 505号室
参加人数 : 運営会議委員9名、事務局6名、傍聴者15名

1. 決定事項

河川レンジャー年間活動計画(案)(以下、計画案)が運営会議委員の審議を経て決定された。

2. 懇談会の概要

「第4回 福島出張所管内河川レンジャー運営会議」について
事務局より委員の出欠および資料の確認が行われた。

平成17年度 河川レンジャーの活動経過報告

小川座長の司会のもと、菊井河川レンジャーおよび辻川河川レンジャーにより、「資料-1 平成17年度 河川レンジャーの活動経過報告」を用いて、平成17年度に実施した河川レンジャーの活動経過報告が行われた。その後、行われた活動について、委員の意見交換が行われた。

主な意見については「3. 主な意見」を参照。

平成18年度 河川レンジャー年間活動計画(案)

菊井河川レンジャーおよび辻川河川レンジャーにより、「資料-2 平成18年度 河川レンジャー年間活動計画(案)」を用いて、平成18年度の計画案についての説明が行われた。その後、委員による審議を経て計画案が決定された。

主な意見については「3. 主な意見」を参照。

平成18年度以降の河川レンジャー運営会議について

事務局より、「資料-3 平成18年度以降の河川レンジャー運営会議について」を用いて平成18年度以降の河川レンジャー運営会議について、改組およびスケジュールの説明が行われた。

3. 主な意見

<平成17年度 河川レンジャーの活動経過報告について>

実施状況の写真から子供たちが楽しく活動に参加していることが伝わってくる。今後も、河川レンジャー活動を通して子供たちが川に親しんでほしい。

「リバーウォッチャー ~淀川探検隊~」で用いる紙芝居は、どのような内容なのか。

「みんなの淀川」というタイトルで、イタセンパラを主人公とした物語を紙芝居にしている。

<平成 18 年度計画案について>

「河川レンジャー自然観察会」は毎月実施するのか。

原則として、毎月第二日曜日に十三干潟および柴島ワンドで活動を行うが、8 月は豊里地区においてツバメのねぐら調査を行う予定である。

「河川レンジャー自然観察会」で実施する清掃活動では、干潟の中の清掃も行うのか。

足元が悪く、野犬が潜んでいることも考えられるため、干潟の中までは入らない。河川敷にある通路周辺での清掃活動を行う。

「リバーウォッチャー ～淀川探検隊～」は辻川河川レンジャーが一人で行うのか。

紙芝居サークル等から協力者を募りたいと考えている。今年度の 3 月 1 日に予定している活動においても、協力していただく予定である。

「リバーウォッチャー ～淀川探検隊～」では、子供たちに川を利用するときのマナーについても伝えてほしいと思う。また、その内容が子供たちから保護者へも伝わると思う。

紙芝居では、川を利用するときのマナーを啓発するため、ゴミや水質の問題についても子供に伝える内容となっている。

地域の水防団は高齢化が進んでいる。「河川防災スクール」において、中学生に水防活動を体験してもらうことは、水防団にとってもよいことだと思う。また、淀川右岸水防事務組合が設立 80 周年を迎え、水防啓発のためのパンフレットを作成すると聞いているので、活用できると思う。

中学生に多くのことを体験してもらうことは、成長したときに何らかの糧となると考えている。

「防災啓発活動（淀川河川敷フェスティバル）」ではどのような活動を予定しているのか。

淀川フォーラム実行委員会と連携して行う活動であるため、淀川フォーラム実行委員会と協議の上で詳細部分を決定していきたいと考えている。

淀川区では淀川の自然や河川レンジャーについて記載した「よど川発見伝」を区内の小学校に配付している。また、淀川区が発行している区民だよりで、河川レンジャーの活動が行われる前などには広報に協力していきたい。

河川レンジャーやその活動について紹介した広報誌を作成し、区役所等で配付すれば、ある程度の広報効果があると思う。

広報誌を作成する場合、河川レンジャー自身が作成することで、思いを読み手に伝えることができると思う。作成のための作業が負担にならない程度で、河川レンジャーの活動の一環として取組んでいくのがよい。